



成績証明書

平成 29年 5月 26日

会社名 ヤマモトホールディングス株式会社 様

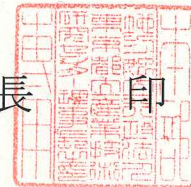
住所 273-0122
千葉県鎌ヶ谷市東初富4-5-54

依頼品	HardoLass A
依頼事項	殺かび試験, 成績証明書

平成 29年 5月 8日 付でご依頼のありました上記試験の成績は、次頁のとおりです。

平成 29年 5月 26日

地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センター理事長 印



- (注) ・ 成績証明書の記載内容は、利用者が持参した試験品に対する試験成績であって、商品 (材料、部品、製品等) 全体の性能・効能等を保証するものではありません。
- ・ 依頼品の品名、定格・仕様等は、依頼者の申請に基づき記載したものです。
 - ・ 本成績証明書の内容を広告等その他に掲載しようとする場合は、あらかじめ地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの承認を受けてください。

1. 依頼品

品名：HardoLass A

依頼品の品名は申込者の申請に基づいて記載した。

2. 試験方法

申込者との協議により、以下の方法で依頼品の殺カビ試験を行った。

2.1 試験菌（かび）

Cladosporium cladosporioides NBRC 6348

* 試験菌の生育性をポテト・デキストロース寒天培地により確認したところ、試験開始7日目で十分な生育が認められた。

2.2 試験手順

① 上記の試験菌について、孢子数が約 10^6 個/mlとなるように湿潤剤添加滅菌水（スルホコハク酸ジオクチルナトリウム50mg/l）に懸濁させ、孢子懸濁液を作製した。

② ガラス製試験管に依頼品2mlを注入し、これを水温約24℃の水槽中に浸して温度を安定させた。

③ ②に孢子懸濁液0.1mlを加えて混和し、水温約24℃の水槽中に静置した。依頼品と孢子懸濁液の作用時間は60分とした。

④ ③を白金耳で1回すくい取り※、GPLP（Glucose Peptone Agar with Lecithin & Polysorbate 80）平板培地に塗抹し、26℃に設定した恒温器で7日間培養した。

⑤ 培養後、GPLP平板培地上への試験菌の生育の有無を判定した。

※：依頼品は液状だが、孢子懸濁液を滴下して60分間作用後にゆるやかに凝固していた。

3. 試験結果

試験結果を表1に示した。

表1 試験結果

依頼品	作用時間（分）	試験菌の発育
HardoLass A	60	無し

<以上>